

2016年3月11日

設立趣意書

現在、国が主導する「福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想」（以下、「構想」）においては、震災、原子力災害により産業基盤が失われた福島浜通りの再生を国の使命と位置づけ、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催時に福島浜通りの力強い再生を世界に示すことを当面の目標に、新たな産業基盤の構築による魅力あふれる地域再生を目指すという構想実現に向け議論が進められております。

しかしながら、2020年までに構想を具体化するには、事業の持続可能性、国、福島県・地元市町村と民間企業等の役割分担、地元との合意形成などの諸課題への対応を早急に整理し、国・県による必要予算等の確定とプロジェクトの具体化が必要とされています。ここにおいて、国、福島県・地元市町村による検討のみならず、プロジェクトの具体化を推進する原動力として、国等の関係者から、民間企業等の関与に期待が示されております。

こうした状況を踏まえ、多様な技術・ノウハウを有する多くの民間企業等の皆様が一体となってプロジェクトの具体化に寄与することを目的に、民間主体の「イノベーション・コースト構想推進企業協議会（以下「協議会」）」を設立しました。

本協議会では、国、福島県・地元市町村および大学を含む関連研究機関等との情報共有、意見交換のほか、協議会会員のネットワーク形成および相互連携促進を図って参ります。また、国が民間主体での検討を期待しているプロジェクトを中心に、企画・計画・設計・建設・運営・施設利用等の各面で関心のある民間企業等の意向に応じて検討部会（分科会）を設置し、議論・検討を行い、必要に応じて、国、福島県・地元市町村等のステークホルダーへ具体的な提案を行うとともに、国、福島県・地元市町村による支援等必要な措置を求めて参ります。これらの取り組みにより、プロジェクトの具体化に寄与するとともに、協議会会員がプロジェクトへの参画を展望することも期待されます。

民間企業の皆様や関係者の皆様の叡智を結集し、福島浜通りの復興と再生に資するプロジェクトの具体化を推進する活動を実施して参ります。

幹事：

(五十音順)

株式会社アトックス

スリーエムジャパン株式会社

東京電力株式会社

株式会社東芝

株式会社日立製作所

株式会社三菱総合研究所

以 上